

<抜粋版>

20年12月期 第2四半期 決算説明会

江崎グリコ株式会社

証券コード 2206

2020.8.7

I .20年12月期第2四半期の業績報告	P.3~P.10
II . 20年12月期の通期業績見込み	P.11~P.12
(補足資料)	P.13~P.14

I . 20年12月期第2四半期の業績報告

20年12月期 第2四半期 サマリー



1. 新型コロナの影響による海外の苦戦もあり、連結売上高は対前年▲0.3%と微減

- 国内では、新型コロナの影響による菓子事業の苦戦があったものの冷菓事業が好調で増収を達成。海外は、新型コロナの影響により、中国では第1四半期、ASEANでは上期、米国では第2四半期において減収。

2. 今上期の連結営業利益は対前年+63.2%と大幅増益

- 主に国内において、新型コロナの影響による旅費交通費の抑制と経費・広告費・販売促進費の下期への延期により大幅増益。海外では、計画比で未達であったものの、前年度が赤字であったため、対前年では増益を達成。

3. 冷菓事業は増収を達成（対前年+12.3%）

健康分野の価値創造により健康カテゴリーは増収を維持（対前年+3.7%）

- 冷菓事業では、アイスの実、ジャイアントコーン、パピコなどが好調で増収を達成。
- 健康カテゴリーでは、アーモンドミルク市場の創造により、アーモンド効果は増収を維持したほか、糖質オフ市場もSUNAOブランドが増収。

連結業績の概況



- 売上高 : 国内は増収を達成するも、海外は苦戦。連結全体では対前年▲0.3%の微減収。
- 営業利益 : 主に国内における販管費コストの抑制と下期への延期により、対前年+63.2%の増益。

(単位：億円)

	19年12月期 2Q累計	20年12月期 2Q累計			
	実績 (調整後)	計画	実績	前年同期比 増減率 %	計画比 増減率 %
売上高	1,664	1,705	1,660	▲0.3	▲2.7
営業利益	53	54	87	+63.2	+61.7
経常利益	63	60	97	+52.8	+61.2
当期純利益	37	43	63	+70.9	+46.1
営業利益率(%)	3.2	3.2	5.3	—	—

営業利益の状況



(単位：億円)

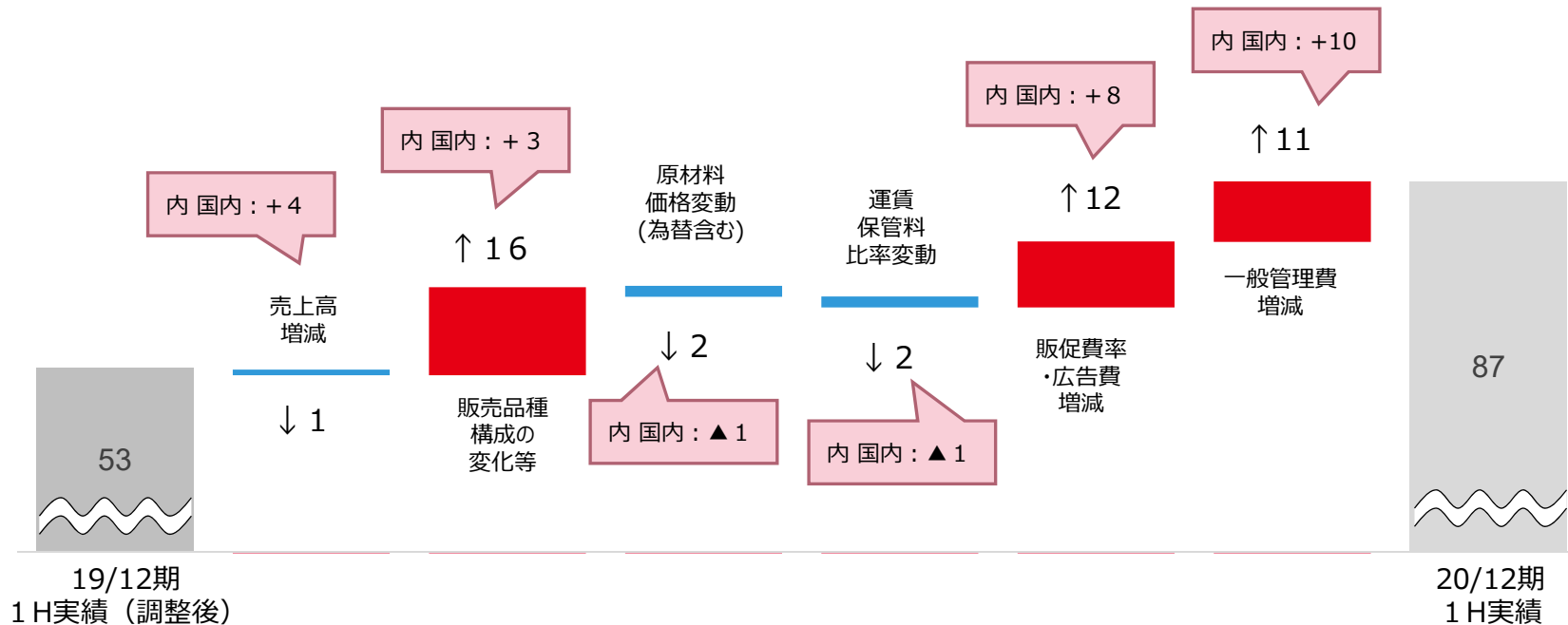
	19年12月期 2Q累計		20年12月期 2Q累計	
	実績 (調整後)	売上比 %	実績	売上比 %
売上高	1,664	100.0	1,660	100.0
売上原価	876	52.7	860	51.8
売上総利益	788	47.3	799	48.2
運賃保管料	152	9.1	153	9.2
販売促進費	268	16.1	264	15.9
広告費	70	4.2	61	3.7
人件費・厚生費	143	8.6	144	8.7
経費・償却費	102	6.1	89	5.4
販売費及び一般管理費 合計	734	44.1	712	42.9
営業利益	53	3.2	87	5.3

営業利益の増減要因



<前年同期比>

- 販売品種構成の変化等は、主に海外において売上原価率が低下したことにより、16億円の増益
- 販促費・広告費、また一般管理費が下期への費用の延期（一部削減）によって、23億円の増益



セグメント別売上高の状況



- 国内セグメントは、菓子、乳業が苦戦したなか、冷菓が業績を牽引し、対前年+0.8%の増収。
- 海外セグメントは、新型コロナの影響による減速が響き、対前年で減収（現地通貨ベースで▲2.8%）。

(単位：億円)

	19年12月期 2Q累計	20年12月期 2Q累計			
	実績（調整後）	計画	実績	前年同期比 増減率 %	計画比 増減率 %
合計	1,664	1,705	1,660	▲ 0.3	▲ 2.7
菓子・食品	459	457	443	▲ 3.5	▲ 3.0
うち 菓子	371	372	346	▲ 6.6	▲ 6.9
うち 食品	88	85	97	+9.5	+13.9
冷菓	380	398	427	+12.3	+7.4
乳業	429	408	415	▲ 3.1	1.8
食品原料	51	52	49	▲ 4.2	▲ 5.6
海外	253	293	237	▲ 6.3	▲ 19.0
その他	91	97	87	▲ 4.3	▲ 10.0
うち 健康	60	66	62	+3.7	▲5.5

	19年12月期 2Q累計実績	20年12月期 2Q累計計画	20年12月期 2Q累計実績
中国(CNY)	1CNY = 16.22円	1CNY = 15.50円	1CNY = 15.37円
タイ(THB)	1THB = 3.47円	1THB = 3.40円	1THB = 3.45円
米国(USD)	1USD = 110.12円	1USD = 109.00円	1USD = 108.43円

セグメント別営業利益の状況



- 国内セグメントは、新型コロナの影響による販管費の抑制と下期への延期などにより前年比23億円の増益。
 - 海外セグメントは、売上原価率の減少などにより前年比11億円の増益。
- (単位：億円)

	19年12月期 2Q累計	20年12月期 2Q累計			
	実績 (調整後)	計画	実績	前年同期比 増減額	計画比 増減額
合計	53	54	87	+34	+33
菓子・食品	24	21	26	+3	+5
うち 菓子	25	20	21	▲3	+2
うち 食品	▲1	2	5	+6	+3
冷菓	23	21	29	+6	+8
乳業	10	4	12	+3	+9
食品原料	4	4	4	+0	▲0
海外	▲2	11	9	+11	▲3
その他	1	▲6	▲2	▲3	+4
調整	▲5	▲2	9	+14	+11

<参考> 換算レートについては以下レートを使用

	19年12月期 2Q累計実績	20年12月期 2Q累計計画	20年12月期 2Q累計実績
中国(CNY)	1CNY = 16.22円	1CNY = 15.50円	1CNY = 15.37円
タイ(THB)	1THB = 3.47円	1THB = 3.40円	1THB = 3.45円
米国(USD)	1USD = 110.12円	1USD = 109.00円	1USD = 108.43円

国内：カテゴリー別状況



カテゴリー	20年12月期 上半期	
	※1 売上高 (前年同期比)	
チョコレート	216億円 (▲6.9%)	主力のポッキーは新型コロナの影響におけるお土産用ポッキー等の減少により減収。健康切り口のGABAは好調に推移したものの、全般的に苦戦。
ビスケット	121億円 (▲2.1%)	主力のブリッツは、昨年のリニューアルなどにより増収を維持できたものの、ビスコが苦戦したため、対前年で減収。
冷菓	427億円 (+12.3%) ※2	アイスの実やジャイアントコーン、パピコ、パナップ等は好調に推移。一方、新型コロナの影響もあり、セブンティーンアイスは苦戦。卸売販売子会社は増収。
発酵乳	104億円 (▲2.3%)	BifiXヨーグルトは対前年で増収を達成したものの、個食の朝食りんごヨーグルトなどの落ち込みにより、対前年で減収。
牛乳・乳飲料	122億円 (▲5.8%)	主カブランドのカフェオーレは基幹商品のリニューアルを実施し、対前年で増収。一方で、牛乳等は減収。
ベビー育児	26億円 (▲3.9%)	第2 四半期に育児用ミルクが市況の落ち込みもあり減収。
健康	62億円 (+3.7%)	アーモンド効果が引き続き好調に推移、SUNAOも対前年で増収。

※1 19年12月期第2 四半期実績 (調整後)との比較

※2 冷菓卸等の売上高含む

Ⅱ .20年12月期の通期業績見込み

通期計画と見込み



- 売上高 : 連結全体では、主に新型コロナの影響による減収を反映し、対期初計画比では▲2.2%、対前年比では+1.2%を見込む。
- 営業利益 : 売上の減収による減益分を経費等の削減により相殺し、営業利益は期初計画を据え置き。

(単位：億円)

	19年12月期 通期	20年12月期 通期			
	実績 (調整後)	計画	見込み	前年同期比 増減率 %	計画比 増減率 %
売上高	3,537	3,660	3,580	+1.2	▲2.2
営業利益	163	180	180	+10.7	—
経常利益	175	185	185	+5.6	—
当期純利益	121	125	125	+3.1	—
営業利益率(%)	4.6	4.9	5.0	—	—

TTM為替レート



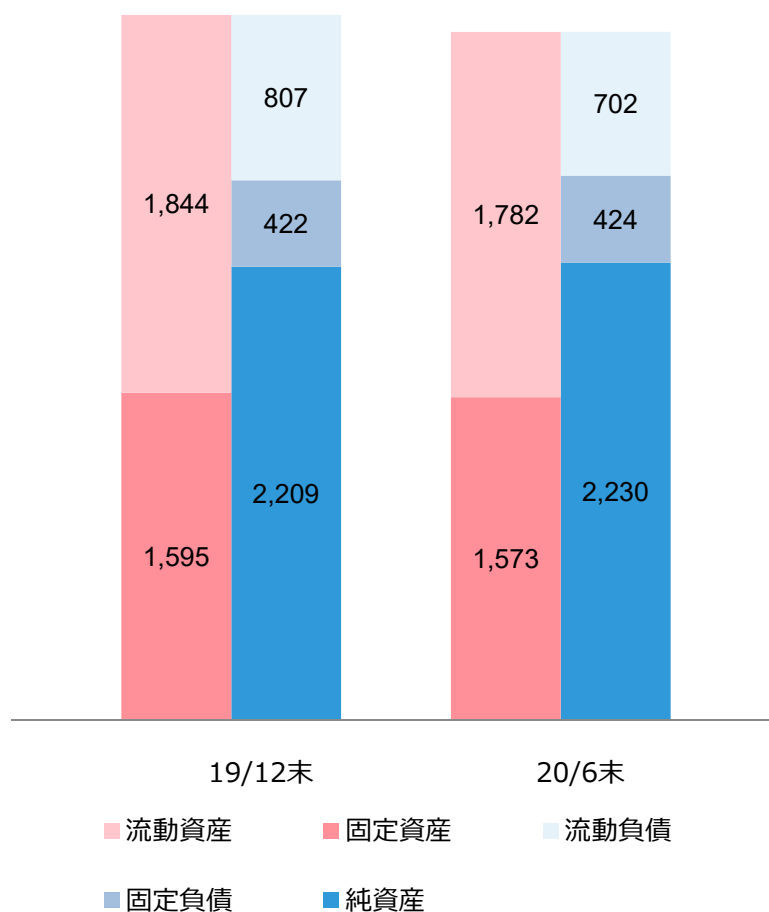
		米ドル	ユーロ	タイバーツ	中国元	100韓国ウォン	100インドネシアピア
		USD	EUR	THB	CNY	100KRW	100IDR
2017	3/31	112.19	119.79	3.26	16.29	10.04	0.84
	6/30	112.00	127.97	3.29	16.49	9.81	0.84
	9/30	112.73	132.85	3.38	16.96	9.89	0.84
	12/31	113.00	134.94	3.45	17.29	10.62	0.84
2018	3/31	106.24	130.52	3.40	16.92	9.99	0.78
	6/30	110.54	127.91	3.33	16.66	9.88	0.77
	9/30	113.57	132.14	3.50	16.50	10.23	0.76
	12/31	111.00	127.00	3.41	16.16	9.94	0.77
2019	3/31	110.99	124.56	3.49	16.47	9.80	0.78
	6/30	107.79	122.49	3.50	15.69	9.33	0.77
	9/30	107.92	118.02	3.53	15.13	8.99	0.76
	12/31	109.56	122.54	3.63	15.67	9.46	0.79
2020	3/31	108.83	119.55	3.34	15.31	8.92	0.67
	6/30	107.74	121.08	3.49	15.23	9.00	0.76
	9/30						
	12/31						

貸借対照表の状況



◆自己資本比率：62.0%(2019/12末) ⇒ 64.2%(2020/6末)

(単位：億円)



資産の部 主要勘定科目		19年 12月末	20年 6月末	19年 12月末比
流動資産	現金及び預金	996	943	▲ 53
	受取手形及び売掛金	438	408	▲ 30
	有価証券	60	31	▲ 28
	棚卸資産	299	336	37
固定資産	有形固定資産	998	970	▲ 28
	無形固定資産	70	85	15
	投資有価証券	353	342	▲ 11

負債の部・純資産の部 主要勘定科目		19年 12月末	20年 6月末	19年 12月末比
流動負債	支払手形及び買掛金	360	330	▲ 30
	短期・長期(1年以内)借入金	2	4	1
固定負債	転換社債型新株予約権付社債	301	301	▲ 0
	長期借入金	0	5	5
純資産	株主資本	2,042	2,086	45

【注意事項】

*この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、取組みなどは、現時点において入手可能な情報の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる可能性がある事をご承知下さい。

*そのような要因の例としては、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

「お問合せ先」

江崎グリコ株式会社 株式・IR部長 山川 尚之

TEL : 06-6477-8167

E-mail : ir-division@glico.com